

「IT システムを用いた多施設共同による

NICU における痛みのケア改善活動の効果の検証」について

○研究の意義・目的

NICU における痛みのケア改善プログラムは、NICU・GCU に入院する新生児の痛みのケアの向上のために、痛みのケアチームの医師と看護師が所属施設で痛みのケアを推進していけるよう支援することを目的としたプログラムです。本プログラムは 2014～2015 年に試行され新生児の痛みのケアの向上に役立つことが明らかとなっています。そのため、参加施設を増やしプログラムの効果をきちんと検証するため、この研究を計画しました。当センターも 11 月から共同研究病院として参加することになりました。

○研究対象者

2017 年 10 月 1 日～2019 年 1 月 31 日の間に、当施設の NICU で治療を受けられた患者さんを対象とします。

○研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。カルテから転記する内容は、気管吸引や皮膚穿刺を伴う処置の総数、看護師による痛みのアセスメントの回数、痛みのアセスメント結果、疼痛緩和法の内容と回数、痛みのケアに関する説明の実施の有無、です。

○資料・情報の管理責任者 広島大学 講師 小澤未緒

○研究期間 2017 年 10 月 30 日～2020 年 3 月 31 日

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

※研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。以降のデータ収集の対象から除外いたします。お申し出いただいても、今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問合せ下さい。

担当者 新生児科 櫻井裕子 助産師 皆川沙織 稲葉亜希子
NICU 責任者 新生児科 土屋恵司 看護師長 廣瀬孝子